

質問及び回答	
Q1	<p>(質問)</p> <p>P153 6 行目 建物の主軸方向は具体的にどのような方向をいうのでしょうか？ 建物の変形方向と加力方向が一致する方向と考えてよいのでしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>建物の主軸には、剛性主軸と耐力主軸があります。一般的な長方形平面の建物では、ほぼ均等に構造要素が X・Y 方向に配置されていれば、両主軸は X・Y 方向となります。</p> <p>しかし、直交の X・Y 方向架構でない場合や斜め架構が存在する場合には、主軸を探す必要があります。3次元解析により水平方向変形が <math>(u,v,\theta)</math> の3要素の場合には、固有モードから卓越する方向を求め、その方向と直交方向を剛性主軸と考えることができます。この主軸方向に加力すると、建物は加力方向に変形するはずですが、ただし、円柱のような均質で方向性のない場合には、振動主軸は全ての方向になりうるため、注意が必要です。</p> <p>また、部材剛性と耐力は比例していないので、ある方向で建物の耐力値が最小になる耐力主軸が存在し、剛性主軸と異なる可能性があります。このような場合には、振動主軸方向に加えて、耐力主軸方向の検討も行う必要があります。</p>
Q2	<p>(質問)</p> <p>P195 16 行目 偏心率の値について 直接基礎、低層ブレース構造等で、浮き上りを考慮して層間変位を算出し 偏心率を求めることは、偏心率の主旨からして良いのでしょうか？ 浮き上りを考慮する場合の偏心率と考慮しない偏心率の両方を求めたほうが よいのでしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>実際の建物挙動を考えた時に、浮き上がりが生じ、その影響が大きいと考えられる場合には、浮き上がりを考慮した建物変形がより現実的と考えられます。偏心率を考える場合に、より現実的な建物挙動を考えるべきなので、浮き上がりが無視できないと思われる場合には、考慮することが合理的と思われる。存在している工学的現象を無視することは、一般的には不適切と思われる。</p>
Q3	<p>(質問)</p> <p>会場で説明があったテキストに載っていない PPT について公開してほしい。</p> <p>(回答)</p> <p>第2章の該当する PPT について、下記 URL で参照できます。</p> <p><a href="http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/kosyukai/qanda/flame-qa-p20170329.pdf">http://kanto.aij.or.jp/images/pdf/kosyukai/qanda/flame-qa-p20170329.pdf</a></p>